



2024年9月26日

各位

会社名 テクノクーツ株式会社  
代表者 取締役社長 園田 育伸  
(コード番号 5217 東証スタンダード)  
問合せ先責任者 取締役 麻田 俊弘  
管理本部長  
(TEL 03-5354-8171)

### 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社グループの現状を評価したうえで分析を行い、今後の対応方針を決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 現状分析と評価

当社グループは、経営の基本方針である当社創立時の「創立の根本精神及経営理念」に掲げる「社会に対し社会性を十分発揮してその存在価値を高め、社員個々の幸福を勝ち取り、企業の維持、発展をならしめること」を基本理念としており、その結果得られた利益を株主、社員、社会に公平に分配し、一部を社内留保して会社の事業内容を充実させ、発展させることが、最大の社会性を意味すると考えております。

また、当社は、2024年10月1日付でジエールサイエンス株式会社（以下、「ジエールサイエンス」といいます。）と共同持株会社設立による経営統合を行う予定であり、今回の対応については、「道は一つ、共に進もう」というスローガンのもとに当社グループが一丸となって、企業価値を向上させることを強く意識して現状の分析を行い、評価したうえで対応方針を決定しております。

#### (1) 現状分析

| 項目/決算期<br>(連結) | 第44期<br>2020年3月期 | 第45期<br>2021年3月期 | 第46期<br>2022年3月期 | 第47期<br>2023年3月期 | 第48期<br>2024年3月期 |
|----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 売上高(千円)        | 9,082,754        | 12,791,083       | 15,820,383       | 20,063,599       | 17,068,522       |
| 経常利益(千円)       | 1,480,205        | 2,368,766        | 3,231,717        | 4,354,594        | 3,838,004        |
| 当期純利益(千円)      | 992,778          | 1,606,206        | 2,200,300        | 2,957,974        | 2,729,472        |
| ROE(%)         | 10.7             | 15.3             | 17.6             | 19.5             | 15.3             |
| PBR(倍)         | 0.82             | 2.05             | 2.23             | 0.98             | 1.09             |
| PER(倍)         | 7.9              | 14.3             | 13.9             | 5.4              | 7.6              |

- ① 株価は2021年3月期に大幅上昇しており、時価総額が 300億円を突破した時期もありましたが、現在は200億円前後で推移しています。
- ② ROEにつきましても、資本コストを意識した経営を行った結果、2021年3月期以降 15%超を維持し続けています。

(ご参考)

・市場・業界別2024年3月期ROE数値 ※JPX統計情報 決算短信集計結果より引用

| 業種/市場    | 全市場   | プライム  | スタンダード | グロース   |
|----------|-------|-------|--------|--------|
| 全産業      | 9.50% | 9.61% | 6.86%  | 3.99%  |
| 製造業      | 9.26% | 9.39% | 5.99%  | △9.52% |
| ガラス・土石製品 | 9.72% | 9.53% | 11.14% | —%     |

- ③ 順調な利益率の上昇に対して時価総額は伸び悩んでおります。一方で、PBRは1.0超えを維持しております。

## (2) 評価

当社グループの連結業績は、技術革新の進行による半導体関連の需要の高まりを背景に着実な成長を遂げてまいりました。ROEにつきましても、売上高の増加や原価低減活動の成果による利益の増加に伴い15%以上の水準を確保しております。

こうした連結業績の伸びを踏まえ、当社のPBRは足元では1倍を超える結果となっておりますが、まだまだ当社に対する市場の評価は低いと判断しております。

## 2. 当社の方針、目標及び具体的施策

当社は、前述の考察をもとに、

- ① 更なる売上高の拡大及び利益率向上に向けた事業戦略の策定  
 ② IR活動の強化

等を行って参りますが、2024年10月1日付でジーエルサイエンスとの経営統合を行う予定であり、目標や具体的施策につきましては、本日公表する経営統合後の共同持株会社の中期経営計画の中で記載しておりますのでご参照ください。

以上